

ご寄付ありがとうございました

株式会社イトーヨーカ堂様から、「佐渡市トキ環境整備基金」へ65万円をご寄付いただきました。イトーヨーカ堂様では、平成20年9月から「朱鷺と暮らす郷づくり認証米 新潟県佐渡産こしひかり」を165店舗で販売していただいています。佐渡市が推進する生物多様性の保全活動に賛同していただき、その販売利益の一部を昨年に引き続き贈呈していただいたものです。ありがとうございました。

「日本の美」を佐渡から世界へ

11月17日～19日に行われた国内最大のインテリア関連見本市「第29回ジャパンテックス2010」に、内装・インテリア業を営む斎藤商事株式会社（秋津）の作品が展覧され、会場の注目を集めました。国宝「風神雷神図屏風」を模した作品は、「友禅古美術屏風“宝”」と名付けられ、伝統工芸師の熟練の技が込められています。来年1月からフランスのパリで開催されるインテリアとデザイン関連見本市「メゾン・エ・オブジェ2011」にも初出展されます。



出展作品 「友禅古美術屏風“宝”」

佐渡のおいしい食材を提案

11月8日、島外の著名な料理人を佐渡に招待し、佐渡産の食材を提案する「朱鷺と暮らす郷 食材提案会in佐渡」が両津やまきホテルで開催されました。会場には佐渡産の農産物や乳製品、魚介類など、島内の22団体から提案のあった64品が並べられました。招かれた7名の料理人の方は、会場に並んだ品々を試食し、佐渡産品の評価や素材の活用方法などを生産者・加工業者などと話し合い、交流を深めました。佐渡産品の良さを見直すことで、食の魅力アップにつながり、産業の活性化が期待されます。



秋季子牛共進会が開催されました

11月1日今年最後の子牛共進会が、2日には高千家畜市場が開催されました。子牛共進会には49頭（雌23頭、去勢26頭）の出場があり、雌の部は石名の渡辺與市さん、去勢の部は岡崎敦さんが最優秀賞を受賞されました。次の日の家畜市場には、子牛の上場頭数が117頭あり、1頭当たりの平均価格は前回の7月市場比較で1702円下落し、33万155円での取引となりました。



「佐渡の民話語り」公演 北海道で開催

北海道増毛町において9月11日から13日までの3日間、「佐渡の民話語り部事業」が開催されました。この事業は増毛町「町制施行110周年記念事業」として開催されたもので、明治6年に北前船で単身北海道増毛町へ渡り、呉服商に始まりニシン漁の網元、海運業、酒造業などの商いにより、一代で巨額の富を築いた本間泰蔵氏（旧商家・丸一本間家初代当主）が現・佐渡市佐和田出身で、佐渡市と深い縁があるということから『赤泊民話語り部の会』金子勝雄さん、大岩ミドリさん、吉田純子さんの3名が招かれたものです。

3日間で合計7回の公演と町内の小学校・中学校・高校を回り、すべての公演で異なる民話を1人当たり20数話演じた他に、夜の部では民話の後に狂言風民話劇「お神酒天狗」を演じ、連日、公演会場は満員御礼となって大成功でした。また、持参した佐渡の特産品（朱鷺と暮らす郷米）・パンフレットなどをご来場いただいた皆さまにお配りして、佐渡市の紹介も含めて、大好評でした。

【旧商家・丸一本間家】ホームページアドレス <http://honmake.blogspot.com/>



国の重要文化財指定《旧商家・丸一本間家》で行われた民話語り部公演の様子



「お神酒天狗」を演じた金子勝雄さん(写真右)、吉田純子さん(中央)、大岩ミドリさん(左)

